

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年12月8日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0891700064		
法人名	株式会社 ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター取手	ユニット名	オリーブ
所在地	〒302-0021 茨城県取手市寺田4697-1		
自己評価作成日	平成26年4月10日	評価結果 市町村受理日	平成26年11月28日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kihon=true&JigyosyoCd=0891700064-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成26年5月13日	評価機関 決 済 日	平成26年9月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>一人ひとりが役割を持ち、生きがいを感じながら、皆さんと協力して楽しく生活を送っていただきたいと思います。そのために多くのボランティアの方々に協力していただいています。それと同時に「手作り雑巾の寄贈」など生活リハビリの一環として作成した雑巾を近隣小学校に寄付する、日々の暮らしの中で、調理をして皆さんに提供する、歌を歌って皆さんを楽しませたい等、自分が誰かのために役立っていると実感し、生きがいを持って暮らしていただけるホームでありたいと思います。 「今行っている支援を自分は受けたいと思えるか」を常に心がけて</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>利用者の中には前の事業所から引き続き8年間生活している人もおり、平均年齢が88歳と高齢であるが、利用者の介護度は入居当時とあまり変わらず、改善している利用者もいるなど、介護度が高くないよう支援に取り組んでいる。 利用者はそれぞれの能力に応じた役割を担って日々生き生きと生活をしており、利用者が誰かのために役に立っていると感じられるような支援に取り組んでいる。 地域の行事に参加したり、近隣住民にグループホームの行事に参加してもらったりして、利用者が地域の一員として交流ができるように支援をしている。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	会社全体の理念のほかに、事業所独自の運営理念を玄関・各ユニット・事務所に掲げ、実践しています。	法人の理念の他、「互いに自ら考え、学び、意欲的に行動し、支えあい、導きあい、尊重し、地域の一員として活動し、地域交流の場となるホーム作りを目指す」との事業所独自の理念を掲げ、職員室と各ユニットの共用空間に提示している。 職員は各自で理念を日々確認し、共通認識のもとで実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の一員として、回覧板を回していただき入居者様と一緒に届けたり、地区の清掃日には参加しています。また日々の買い物、近隣の交流センターの将棋クラブに参加、夏祭りを始め季節の催し物には声をかけていただいています。 なお、当ホームの行事開催時には、多くの方がご参加くださいます。	自治会には加入していないが、自治会の回覧板をお隣の方の好意で回してもらっている。 利用者は職員と一緒にごみ出しや地域の清掃活動などに参加しているほか、近隣の交流センターで開催される将棋クラブに参加した際には、行きは職員が送って行くが、帰りはクラブの会長さんが事業所まで送って来てくれている。 習字や日本舞踊などの地域ボランティアを受け入れたり、利用者が手作りした雑巾を近隣の小学校へ寄付したりしている。 年1回開催される「ニチイ祭」では、面子を手作りして地域の子どもに声かけして一緒に遊んだり、参加者と足浴を楽しんだりして地域住民と交流をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	多くのボランティアの方々が来てくださり交流を深めると共に入居者様の様子や職員の関り方を通して認知症への理解を得るようにしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市の職員、地区担当の民生員、地域住民の代表、家族代表（二家族）で、二ヶ月に一回開催し、運営報告や行事の報告（写真等を利用）、今後の予定、質疑応答、要望など。特にスタッフの勉強会についてご家族も勉強の資料にしたいなどのご意見を反映し、可能な資料を配布するなど改善されています。	運営推進会議は家族代表（2家族）や市職員、民生委員、地域住民の代表（習字の先生）で、2ヶ月に1回開催している。 会議では入居状況や職員の移動、年間行事などについて報告している。 委員から「広い庭の草取りは大変なので、近隣住民へ畑を貸して、住民同士の交流を凶ってはどうか」との提案をいただき、前向きに検討している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議には必ず出席（代理の場合有り）して頂いています。また、そのお知らせや、行事のお知らせ、介護保険更新手続きなど、市役所に足を運んでは、おしゃべりをするようにしています。	運営推進会議の時や市役所へ出向いた際に、行事や介護保険の更新手続きなどについて相談をしている。 家族等から、「身内が認知症であることを近隣住民に知られたくない」との相談を市担当者に相談した際、認知症キャラバンメイト派遣の手配をしてくれるなど、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的な勉強会で、スタッフが順次発表者となり、会社のマニュアルや独自の資料を作成し、理解を深めています。また、常時日中は玄関を開錠しています。	管理者や職員は本部が作成した身体拘束排除に関するマニュアルに基づき、身体拘束の弊害について研修を実施している。 管理者は職員が身体拘束の弊害を理解するために、事例を提示して皆で検討しながら身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 日中は玄関の鍵は開錠している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束同様、定期的な勉強会で、スタッフが順次発表者となり、会社のマニュアルや独自の資料を作成し、理解を深めています。また、報告・連絡・相談を密にし、細心の注意を払って対応しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	上記勉強会の実施及び外部研修への参加し理解を深めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	専門用語や、難解な言葉を避け、分かりやすい言葉で説明させていただいています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や面会の際にご意見ご希望を伺って日々の生活に反映しています。また、本社においてアンケート調査を行っています。	利用者からは日常の会話から、家族等からは運営推進会議や来訪時などに意見や要望を聴くように努めている。 本部で「顧客満足度アンケート調査」を実施しており、その結果に基づき職員会議を開催して対応策を考え、運営に反映させている。 「食事内容を知りたい」との家族等の要望を受け、「ほほえみ通信」に献立を掲載して対応をしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のカンファや会議だけでなく、日頃から職員が相談や意見が言える環境づくりに努め、その声を運営に活かすように努めています。	管理者は毎月のカンファレンスや会議の時に、職員の相談や意見を聞くとともに、日々職員が意見を言い易い環境づくりに努めている。 利用者同士がストレス無く生活ができるようにとの職員からの提案に対し、検討して運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	時給者については、「キャリアアップ制度」があり、スキルに応じた昇給、昇格を図っています。また、常勤者においては、「個人別目標チャレンジシート」を年二回行い自己評価を行っています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年に数回テクニカル研修が実施され、各々のスキルアップを図っています。また、外部研修への参加も促しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	取手市グループホーム連絡会（取手市内で運営しているホームの管理者が集まり話し合いを行っている）に出席し、市内全体のスキルアップを目的とした全体の研修にも積極的に参加しています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスの開始に当たっては、管理者・ユニットのスタッフ・ケアマネが、必ず、ご本人と面談し、状況やご希望をお聞きしています。またケアプランは短期目標を1ヶ月程度に作成し、スタッフ全員で関係作りを行っています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会にいらっしゃった時に、こちらから声をかける等をして、関係づくりを行っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居の相談時から、ご家族並びにご本人の状況を考察し、系列の事業所及び近隣の事業所へのサービスを鑑み、お勧めしています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	残存機能を活かし、その人らしく充実した生活が送れる様に、スタッフは後方支援的な役割に徹し、自発的な生活が営めるようにアドバイスしています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	素朴な質問をも傾聴し、信頼関係を構築しながら、共に介護する関係作りに努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友達と外出されたり、ご家族と旅行に出掛けたり、入居前から通っていた将棋クラブに参加したり、なじみのスーパーや本屋への買い物など、馴染み親しんできた生活の継続に努めています。	入居時に利用者の馴染みの人や場所を利用者や家族等から聞いて把握している。 利用者がこれまで通っていた将棋クラブや本屋さん、スーパーなどに継続して行けるように支援したり、昔の職場の同僚との外出や家族等との旅行を支援したりして、関係が途切れないように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日頃の生活を観察し、また皆さんが一堂に会した時などの様子から、それぞれの関係を把握し、食事や家事・レクリエーション等生活全般において、孤立しないようにスタッフが介入しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院先が提携院であることから、通院等で病院を訪れたときは面会し、その支援に努めています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃の生活の中の会話から、希望や意向を把握し、カンファレンスなどを通し実現可能にするための話し合いを設けています。	職員は利用者が気持ちよく生活ができるよう日常の係わりや会話から意向を把握し、カンファレンス時に職員で共有している。 朝起床が困難な利用者に対し、暖かいタオルを用意したり、話しかけたりするなど、利用者の気持ちを尊重しながら、利用者の表情が穏やかになるよう心がけている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時のアセスメント（ご家族にお聞きしています）や日々の会話の中から把握し、スタッフ間で情報を共有することでより多くの情報を把握するように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々のケアの中で話しを傾聴し、他のスタッフ等と話し合ったり記録をしたりし、その把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族が訪問するときにお話しをお聞きし情報をカンファレンスにて検討しています。また訪問診療時には主治医と情報を共有し、支援方法を検討しています。	センター方式によるアセスメントを実施し、長期目標や短期目標を立て、さらに日常生活支援シートを用いて日々の支援をしている。 月1回のカンファレンスでの職員の意見や訪問診療の際の医師の意見などを取り入れ、介護計画に反映させている。 6か月毎にモニタリングを行ったり、入院などで変化が生じた場合は、その都度現状に即した介護計画に見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録・管理日誌などのほかに、連絡ノートを利用して、スタッフ個々の気づきや思いついた工夫などを記入し、またそれに対しての意見などを記入することで情報を共有しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々にも生まれるニーズにいかに対応すべきか、話し合いは行われるものの、既存のサービスの中で対応しているところは否めません。今後も柔軟な対応が出来る様に研修等を重ねたいと思います。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	その様にしています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	その様にしています。	利用者や家族等の希望にそって入居前のかかりつけ医の訪問診療を受け入れられるように支援している。 受診結果は家族等へ報告し、共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	提携医院の看護師との関係も良好で、些細な異変の連絡・相談に対して快く対応してくだり、職員も得られたアドバイスに基づき対応しています。また、この良好な関係が継続する様に職員一同努めています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	提携医の先生とも関係が良好で、便宜をはらってくださっています。また、この関係が継続するように努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合、提携医のアドバイスを請け療養型施設へ移行等、家族と医療機関との橋渡しをしています。	法人としては看取りは行わない方針であり、重度化した場合は、協力医療機関の医師と相談をして入院などの支援をしている。入居時に重度化や終末期に向けた方針を口頭で説明しているが、事業所でできないこと、段階的な対応などについて文章化はされていない。「重度化や終末期に向けた事業所の対応指針」を作成し、同意を得るまでには至っていない。	管理者や職員、医療関係者などで話し合い、重度化や終末期の対応指針を作成するとともに、利用者や家族等に説明し、書面で同意を得ることを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署などの応急処置講習を受講しています。また提携医に指示を仰ぎ対応しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	近隣の方々の協力を得て、避難訓練を実施しています。	年2回避難訓練を住民の参加を得ながら実施している。2階建てのため、階段を使用した避難の方法などを消防署員から習得したり、課題や反省点などを記録に残し、全職員が身につける努力をしたりしているが、夜間を想定した訓練を実施するまでには至っていない。	2階建ての建物であることや避難階段が急であるため、夜間の災害にスムーズに対応ができるよう、夜間を想定した訓練を実施することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その人らしさを尊重したケアを心がけており、言葉遣いに関しても、その様に接しています。	職員は利用者の性格や過去の生活、職歴を把握し、その人らしさを大切にして苗字で呼ぶなど、人格を尊重した言葉づかいや対応に努めている。 個人情報に関する書類は事務所の鍵のかかる棚に保管し、情報の漏洩に留意している。			
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃より、自発的な行動・意思表示が出来るような環境を作り、またその様な関係を築いています。	/		/	
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日頃より、自発的な行動・意思表示が出来るような環境を作り、またその様な関係を築いています。また、カンファレンスなどで「その人らしい暮らしとは・・・」を考え職員全員で対応しています。				
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日頃より、自発的な行動・意思表示が出来るような環境を作り、またその様な関係を築いています。	/		/	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	皆さんとの会話の中から、献立を立て、調理の手順や地方色を聞き出すなど、食事が楽しみになるような工夫を凝らしています。また残存機能を考慮し出来る範囲で準備から片付けまで一緒に行っています。	午前中の利用者との会話から本日食べたい料理を聞き出し、利用者と一緒に調理しており、各ユニット毎に料理が異なっている。 職員と一緒に利用者も食材の買い出しに出かけたり、事業所の近くに「豆腐屋」の車が来た際には、利用者が買いに行ったりするなど、積極的に食事準備に関わっている。 利用者は調理や盛り付け、配膳、テーブル拭き、後片付けなどの役割を担いながら食事を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々の食事摂取量や水分摂取量を記録し、一人ひとり必要量を摂取しているか管理しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりの残像機能に合ったケアを行い、毎食前の口腔体操、食後の口腔ケアを実施しています。また、定期的な訪問歯科による口腔ケアを実施しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ADLを鑑み、日々の食事量や水分摂取量を考慮し、パットの使用量の軽減や自力排泄を促し、日々のケアに取り組んでいます。	職員は排泄チェック表を活用して排泄パターンを把握し、トイレで排泄ができるよう支援をしている。 平均年齢は88歳だがオムツ使用者はおらず、入居者の3分の1は布パンツ使用者で、残りの利用者もリハビリパンツとパットを使用しており、排泄の自立に向けた支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の排泄の記録を基に、食事内容や生活の見直しを図り、下剤などに頼らずに自力排泄が出来る様に対応しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご本人の意思を優先し、入浴していただいています。また、最低でも週二回は入浴していただき、立ち上がり不安な方には職員が二人で対応する時もあります。	入浴は週2回を原則としているが、利用者の希望にそっていつでも入浴ができ、最近では週3回は入浴している。 入浴を拒否する利用者へは時間をずらしたり、声をかける職員を替えたり、同性の職員が対応するなどの工夫をしている。 季節に合わせて菖蒲湯や柚子湯などを取り入れたり、入浴剤を使用したりして入浴が楽しめるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人の生活習慣を尊重し、またその時の体調に応じ、昼夜逆転にならない限り、休んでいただいています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を職員が把握し、提携医とも連携し、その理解を深めるようにしています。また服薬時の確認にも努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	センター方式によるアセスメントにて、家族からの情報提供をお願いし、生活歴を把握しています。また、日頃から一人ひとりの生活を観察し、現状にあったケアプランに基づき支援しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	食材の買い物に近くのスーパーに買い物に出掛けたり、ゴミ捨てには、散歩を兼ねて遠回りしたり、出来る限りホームの外に出掛ける機会を作っています。またご家族や友人の誘いで、外出したり、食事に出掛けたりされています。	利用者は職員と一緒に日常的に買い物に出かけたり、事業所で飼っているセラピー犬の散歩をしたり、ごみ出しや「豆腐屋」が来た時も外へ買い出しに行ったりしている。利用者が外気にふれたり、外部の人と接触する機会が多く持てるよう支援をしている。友達や家族等と一緒に外出する機会はあるが、利用者全員で外出する機会は少ない。	家族等の協力を得ながら、利用者全員が定期的に参加ができるような年間行事計画を立て、実施することを期待する。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	事務所で管理していますが、ご本人の希望により買い物や美容院の支払いなどご本人にやっていただくようにしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	皆さん携帯電話では無く、ホームの電話を使用いただいています。手紙は自由にやり取りいただいています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活リハビリの一環として製作した作品などを展示し、また季節の花を飾ったり、環境美化に取り組んでいます。	居間には陽射しを一杯感じられる広い窓ガラスがあり、窓から続くウッドデッキには椅子が配置され、おやつなどを楽しめるようにしている。居間や廊下の壁には利用者が書いた習字や職員と一緒に制作した兜など、季節を感じさせる切り絵を飾り、明るい共用空間づくりに努めるとともに、利用者が居心地よく過ごせるよう工夫をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアやテラスを常に開放し皆様がいつでも集える環境を整備しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族には入居の際にお話ししていますし、面会のときにその時に必要不必要なものを相談しています。	利用者は居室に使い慣れた馴染みの箆笥や椅子の他、仏壇、位牌など大切な物品を持ち込んでいる。 家族等の写真の他に若き日の利用者の写真も飾り、居心地よく過ごせる場所となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	まごつき易い所には張り紙を刷るなりして、混乱を防ぐようにし、自分の意思や力で行動出来る様に配慮しています。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように ○ 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が ○ 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 ニチイケアセンター取手

作成日 平成26年12月2日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策	年2回の避難訓練中1回は夜間想定とする	H26年6月23日夜間想定 of 避難訓練を既に実施済み。又12月に前回の反省を元に第2回目の避難訓練を予定	随時
2	49	日常的な外出支援	近隣への散歩や買い物を実施。又介護タクシーを利用した外出を実施する	H26年7月18日に外出クを実施済み。日常的なゴミ捨てや散歩などを実施する。	随時
3	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	文章化に向けた改善	支店担当者と検討する	随時
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。